

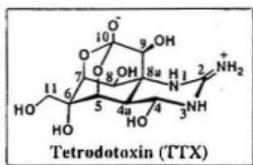
(神奈川大工) 佐藤憲一・杉田直樹・赤井昭二・大澤忠嗣

Synthetic Study of *dl*-Tetrodotoxin from *myo*-Inositol (Part 2)

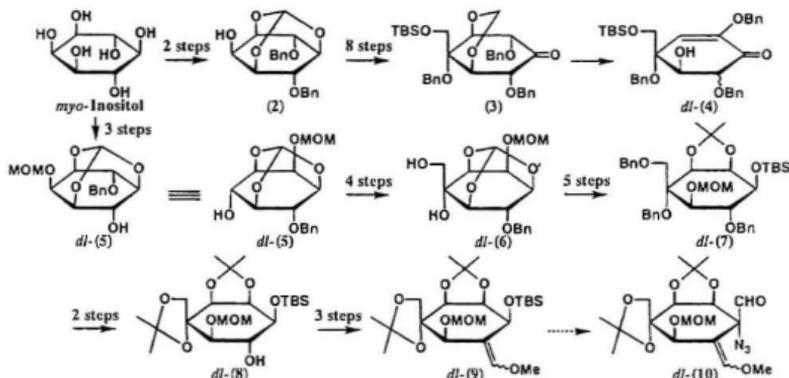
(Faculty of Engineering, Kanagawa University)

Sato, Ken-ichi; Sugita, Naoki; Akai, Shoji; Ohsawa, Tadatsugu

1. 我々は、種々の手法によるフグ毒 (テトロドトキシシン(TTX)) および各種誘導体の簡便な合成法の確立を目指し研究を行ってきた。演者らは、*myo*-イノシトールを原料とすれば、より短工程で全合成が行えると考え、これまでの知見をもとに検討し、TTX合成重要中間体を得たので報告する。



2, 3. 前回は、2 を経由し 3 を得たことを報告した¹⁾。3 のカルボニル α 位炭素は、TTX と逆の立体配置であるためその反転を検討したが、目的物は得られず β 脱離体(4) が得られた。そこで立体反転を必要としない新規合成法を検討した。*myo*-イノシトールより3工程で 2 とは異なる水酸基を保護し、5 を得た。次いで、5 に対し当研究室で確立した手法により分枝を導入し、6 を得た。これによりTTXの5, 6, 7, 8, 11位部分の合成が完了した。6 より7工程で 8 とした後、アミナル部分となる分枝鎖を有する重要中間体 9 を合成した。現在、残り1つの分枝導入を含め、全合成に向け検討を行っている。



1) 佐藤憲一 他、日本化学会第70春季年会講演予稿集II、652 (1996).